

# はたらくネット

今回は、「幸満つる郷 KDDIエボルバ 野蒜」様をご紹介します。東日本大震災により被災した東松島市野蒜地区の一面を利用して、農産物栽培と販売を行っている会社です。現在、47名の障害のある方やアクティブシニアのみなさんが働いています。農福企業連携による「つながり」を大切にしながら積極的にチャレンジしています。

## 「幸満つる郷 KDDIエボルバ 野蒜 で仕事をしている障害のある方」

藤原 幸恵 様

働いていて、よかったことを教えてください。

働いて給料を頂けるのが嬉しいです。初任給でリボンのついたショルダーバッグを買いました。

色々な障害のある方が働いているので、今まで辛かったことなどを共感しながらともに頑張っています。初めは何ができるか分からず、戸惑いましたが、ベビーリーフの収穫に挑戦するなど、出来ることが増えています。みんなと同じ仕事ができるようになっていくことが嬉しいです。



最近、ゆき菜の収穫と枯葉を取る作業、袋詰めをしています。管理者の鈴木さんに教えてもらいながら何度も練習をして、出来るようになった時はとても達成感がありました。

働いていて、辛かったことを教えてください。

寒くて風が冷たい日の作業は辛いけれど、同僚たちも一生懸命やっているのだから、ここで頑張れば何かいいことがあると自分を奮い立たせながら頑張りました。

年末年始に実家に帰省した際に、安心して風邪をひいてしまった時は辛かったです。

仕事自体に関しては、毎日達成感があるため、特に辛さは感じません。

これからの目標を教えてください。

管理者の鈴木さんはお客様に話しかける時に、失礼のないように笑顔を絶やさず接客しています。私も鈴木さんのような接客を目指しています。

### これから働こうと考えているかたへのメッセージ

色々な障害の方がいると思います。障害によっては出来ないこともあると思いますが、周りのみなさんに協力してもらい、自分の出来ることを増やすと、楽しく素晴らしい人生になると思います。障害のせいにならずに、障害のあるなしを問わず、出来ることを増やして生活していくと良いと思います。

## 「障害のある方を雇用している企業の方」

幸満つる郷 KDDIエボルバ野蒜 管理者 鈴木 順子 様

藤原さんとの関係性を教えてください。

プライベートなことも相談しあえる仲です。地域の事や経験のないことなどは藤原さんに相談させてもらっています。

藤原さんと働いていて感じたことを教えてください。

藤原さんは、もっとやりたい！もっと成長したい！という意欲がものすごく高い方です。

藤原さんに得意分野を持ってほしいと思っていた時、「耕運機の操作に挑戦してみませんか」と声をかけたところ、本人も「やってみたい」とのことだったので、挑戦してもらうことになりました。周りが安全さえ配慮すれば、出来ることは増えると思います。

藤原さんの存在が、みんなのやる気を引き出し、周囲の皆さんを引っ張ってってくれています。へこたれることもなく、他の方のお手本になっています。藤原さんは声のトーンで他のメンバーの様子がわかるので、「〇〇さん今日元気ですね。」と周囲への気遣いもしてくれれます。藤原さんと働くことで

私自身も様々な気づきが増え、とても勉強になっています。



## 障害のある方と働く上での取り組みを教えてください。

障害のある方と仕事をするのが初めてだったので、まずは何事も一緒に取り組みました。時には、土の上に一緒に寝転がって土まみれになったりもしました。お互



いに慣れ始めたころ「今出来ることを増やしたいか」、「何事にも挑戦してスキルアップしたいか」を自分のチームのメンバー一人一人に聞き、それぞれの作業内容に反映させています。今でも定期的に振り返りをしながら十分にコミュニケーションをとることで心のモヤモヤを小さいうちに解消できるよう心がけています。

## 障害のある方と働く上で大切だと思うこと。

他のメンバーと差をつけず、公平にし、伝えなければならないことは伝えるように心がけています。但し、一方的にならないように、言い方が気になった時は伝えてもらっています。言いたいことを言い合える環境がとても大切だと感じています。



## 「障害のある方を雇用している企業の方」

株式会社KDDIエボルバ 総務人事部 課長 深澤 亨さん

### 障害者雇用を通じて感じたこと

障害者雇用について、雇う側に、障害者の自立サポートが意識、設備、運用の面で、必要十分であれば、障害者スタッフの仕事域の広がりや能力のアップも十分に図られます。そして、それは確かな「戦力」になりえます。逆に、そのサポートが

中途半端で不十分であった場合は、障害者スタッフの能力は活かしきれなくなってしまう。結果として生産性、効率性、そして働く環境に負の循環を巻き起こしてしまいます。それゆえ、雇う側は、受入体制とその運用について、しっかりと準備して、仕組づくり、枠組みづくりを図る必要があると思います。採用後も“日々改善”の意識と行動で取り組んでいけば、お互いが幸せを感じる機会も段々と多くなり、組織にあたたかみが出てきます。

### 働きたい障害のある方へメッセージ

自分を変えられるのは自分だけです。まずは恐れず、恥ずかしがらず、いたずらに不安に駆られることなく、勇気を出して、行動をおこしてみましょ。考えているだけでは何も変わりません。行動がとても大事なのです。私たちは、その行動する勇気を歓迎し、可能な限りのサポートをしていきます。一度しかない人生、「生きていて本当によかった」と思える機会を自らの行動を端にたくさん作っていきましょう。



株式会社KDDIエボルバの深澤亨課長には、平成3年11月15日に開催した障害者雇用促進セミナーでご講演いただきました。

仙台市障害理解  
促進キャラクター  
「ココロン」



仙台市障害者就労支援センターは

障害のある方の「働く」を応援します！

企業様の「障害のある方の雇用」をお手伝いします！

支援機関と手を取り合って障害のある方の雇用を支えます。

仙台市障害者就労支援センターでは障害者雇用における様々な取り組みを行っております。詳細は当センターのホームページをご覧ください。

発行：仙台市障害者就労支援センター（指定管理者：社会福祉法人仙台市障害者福祉協会）  
住所：仙台市泉区泉中央2丁目1-1 泉区役所東庁舎5階  
電話：022-772-5517 FAX：022-772-5519  
Eメール：info@sendai-wsc.jp ホームページ：http://www.sendai-wsc.jp/